

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容または改善目標 |
|--------------------------------------|----------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|----------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------|
| 環境・ 体制 整備 | ① | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | ○ | | 基準は満たしているが、活動内容によっては、併設する事業所の部屋を借りたり、公園へ出かけてより広い場所で活動することもあります。 | |
| | ② | 職員の配置数は適切である | ○ | | | |
| | ③ | 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所への設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている | ○ | | | |
| | ④ | 生活空間は清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子どもの活動に合わせた空間となっている。 | ○ | | パーティションで空間を仕切り、個別活動に集中して取り組めるようにしています。 | |
| 業務 改善 | ⑤ | 業務改善を進めるための、PDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している | ○ | | | |
| | ⑥ | 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | ○ | | 定期的に、アンケートにご協力頂いており、ニーズを把握し、支援に反映させるよう努めています。 | |
| | ⑦ | 事業所向け自己評価表および、保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を事業所の会報やホームページ等で公開している | ○ | | | |
| | ⑧ | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | | ○ | | 3年毎に行うことになっており、開所して1年のためまだ行っていないが、2年以内に第三者評価を行います。 |
| | ⑨ | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | ○ | | | |
| 適 切 な 支 援 の 提 供 | ⑩ | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、児童発達支援計画を作成している | ○ | | | |
| | ⑪ | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | ○ | | 発達検査の結果や、太田ステージなどの評価を基に、利用者の発達段階を把握するようにしています。 | |
| | ⑫ | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で具体的な支援内容が設定されている。 | ○ | | | |
| | ⑬ | 児童発達支援計画に沿った支援が行われている | ○ | | | |
| | ⑭ | 活動プログラムの立案をチームで行っている | ○ | | ここぶらす、ここぶらす出仲間、ここぶらす八王寺の3事業所のスタッフが集まり、合同の会議を行う中で、意見を出し合って活動プログラムを組んでいます。 | |
| | ⑮ | 活動プログラムを固定化しないよう工夫している | ○ | | 季節に合わせた活動の年間計画を立て、担当を割り振ることで、バリエーションのある活動を行っています。 | |
| | ⑯ | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している | ○ | | | |
| | ⑰ | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | ○ | | | |
| | ⑱ | 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有している | ○ | | 申し送りノート等活用し、職員全員が支援の改善点などを共有できるようにしている。 | |
| | ⑲ | 日々の支援に関して記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | ○ | | | |
| ⑳ | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか | ○ | | 定期的に、保護者と相談支援専門員に活動の様子の写真入りのモニタリングをお渡ししています。 | | |
| | ㉑ | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | ○ | | | |

| | | | | | | |
|--------------|--------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------|---|--------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------|
| 関係機関や保護者との連携 | 22 | 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている | ○ | | 園や保健師、児童相談所等と情報共有し、支援を行っています。 | |
| | 23 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連絡体制を整えている。 | | ○ | | 現在は、医療的ケアが必要な方の利用がありませんが、必要に応じて他機関と情報共有しています。 |
| | 24 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関などと連絡体制を整えている | | ○ | | 現在は、医療的ケアが必要な方の利用がありませんが、必要に応じて医療機関と情報共有しています。 |
| | 25 | 移行支援として、保育所や認定子ども園、幼稚園、特別支援学校等との間で支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | ○ | | 園への情報提供を行っています。 | |
| | 26 | 移行支援として、小学校や特別支援学校等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | ○ | | 学校への情報提供を行っています。 | |
| | 27 | 他の児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | ○ | | | |
| | 28 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や障がいのない子どもと活動する機会がある | ○ | | 公園遊びなどを通じて地域の多様な方々と交流しています。 | |
| | 29 | (地域自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している | | ○ | | コミュニティセンターに定期的に訪問させて頂いています。今後、協議会等へ参加していきたいです。 |
| | 30 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | ○ | | 保護者がお忙しい場合は、連絡帳やお電話、メールなどを使って情報交換しています。ご要望があれば面談を行うこともできます。 | |
| | 31 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている | ○ | | 言語療法では、お母様と面談を行い、家庭でできる支援を提案させて頂いています。 | |
| 保護者への説明責任等 | 32 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | ○ | | | |
| | 33 | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び、支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている | ○ | | | |
| | 34 | 定期的に保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | ○ | | 定期的に面談をさせて頂いております。事業所でのお子様のご様子をお伝えしたり、園や家庭のご様子を伺うことで、足並みをそろえた支援ができるように情報共有します。 | |
| | 35 | 父母会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | | ○ | | 親子活動の中での親同士の関わりはありましたが、今後は、保護者同士の繋がりを目的とする場を設けていきたいです。 |
| | 36 | 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している | ○ | | | |
| | 37 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | ○ | | | |
| | 38 | 個人情報に十分注意している | ○ | | | |
| | 39 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | ○ | | | |
| | 40 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | ○ | | 夏祭りをしています。 | |
| | 非常時の対応 | 41 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している | ○ | | |
| 42 | | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出そのほか必要な訓練を行っている | ○ | | | |
| 43 | | 事前に服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している | ○ | | 契約時に確認をしています。 | |
| 44 | | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | | ○ | 契約時にアレルギーの有無を確認をしています。 | 現在は、医師の指示書が必要な食物アレルギーの方の利用はありませんが、必要があればおやつの変更など対応します。 |
| 45 | | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | ○ | | ヒヤリハットは毎日ひとつ、必ずあげるようにしており、怪我や事故につながる行動を職員が予測できるよう日々トレーニングしています。 | |
| 46 | | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | ○ | | | |
| 47 | | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し理解を得たうえで、児童発達支援計画に記載している | ○ | | | |